

みんなの“わ”で らしさがひろがる石岡市



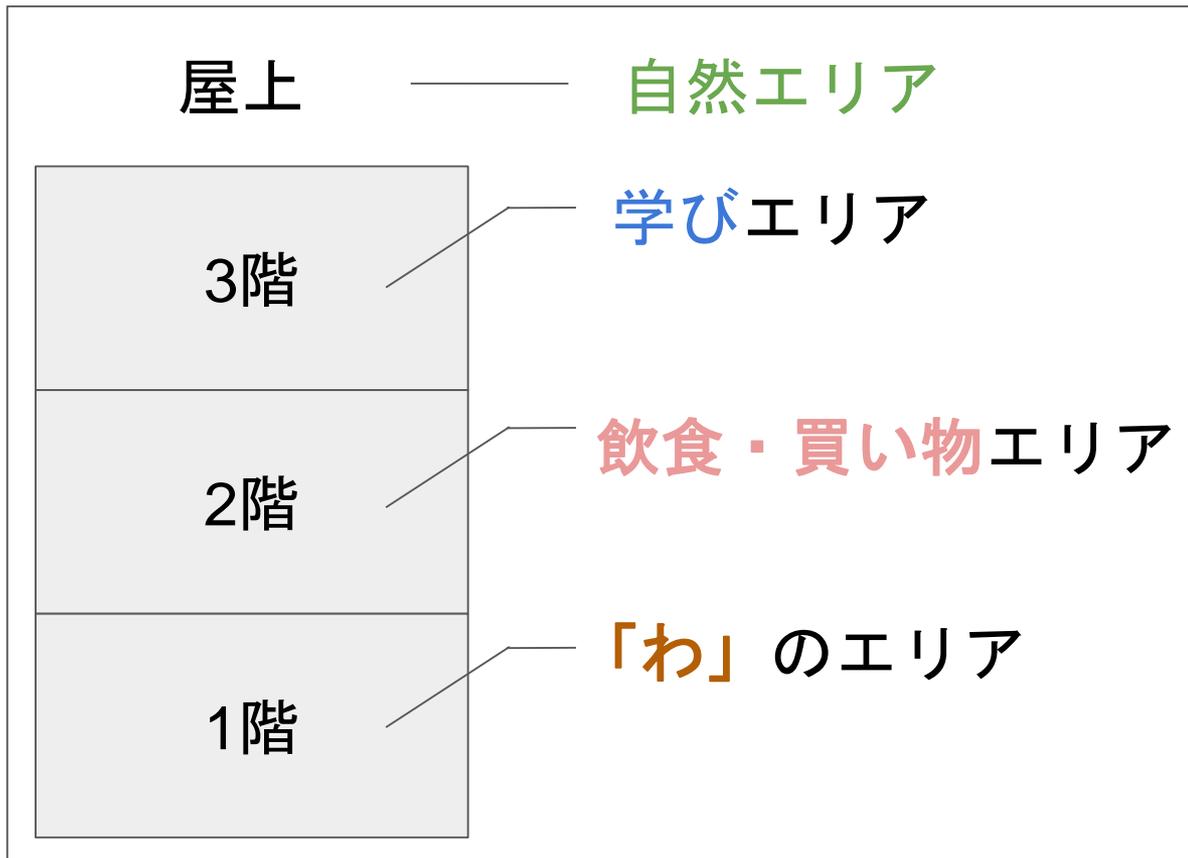
3班 茨城県立石岡第二高等学校

施設の概要

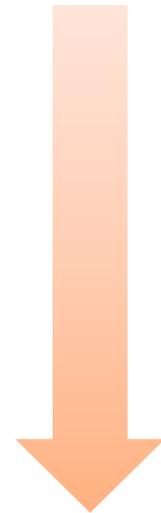
対象地：駅前広場

(理由：駅を利用する高校生や会社員の人がいるため)

高さ：3階建て



にぎやか度
小（静か）



大（にぎやか）

屋上から1階にかけてにぎやか度が増す

1階 「わ」のエリア

地域や年代を問わずに人が交流できるエリア

◎いいところを活かす
石岡の歴史や文化を伝えられる

◎いいところを活かす
住民の温かさを感じられる

ホーム

スタンプラリーコーナー

徒歩の人の
経路

通路

①石岡
ルーム



②若者
ルーム



③子育て
ルーム



車の出入り口

駐車場



文化芸術

1



多世代交流

2



にぎわい

3



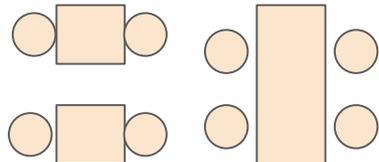
2階 飲食・買い物エリア

1階に来た人も3階に来た人も
手軽に利用できるエリア

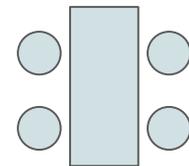
▲課題を解決
若者が気軽に行ける飲食店が少ない

パン屋・
軽食

飲食コーナー



▲課題を解決
フリースペースとして過ごせる
場所が少ない



フリースペース

文房
具屋

♪ あったらいいな
勉強中にシャープペンの芯が
なくなったときに買える！

通路





3階 学びエリア

いろいろな人が利用できる 図書館を中心とした学びのエリア

利用する人それぞれに合った
使い方ができるように区切る

ホーム

通路

図書館

③仕事スペース

①学生専用
スペース

防音勉強スペース

◎いいところを活かす
石岡駅を利用する人が多いので、
作業や勉強ができるスペースをする
コンセントあり

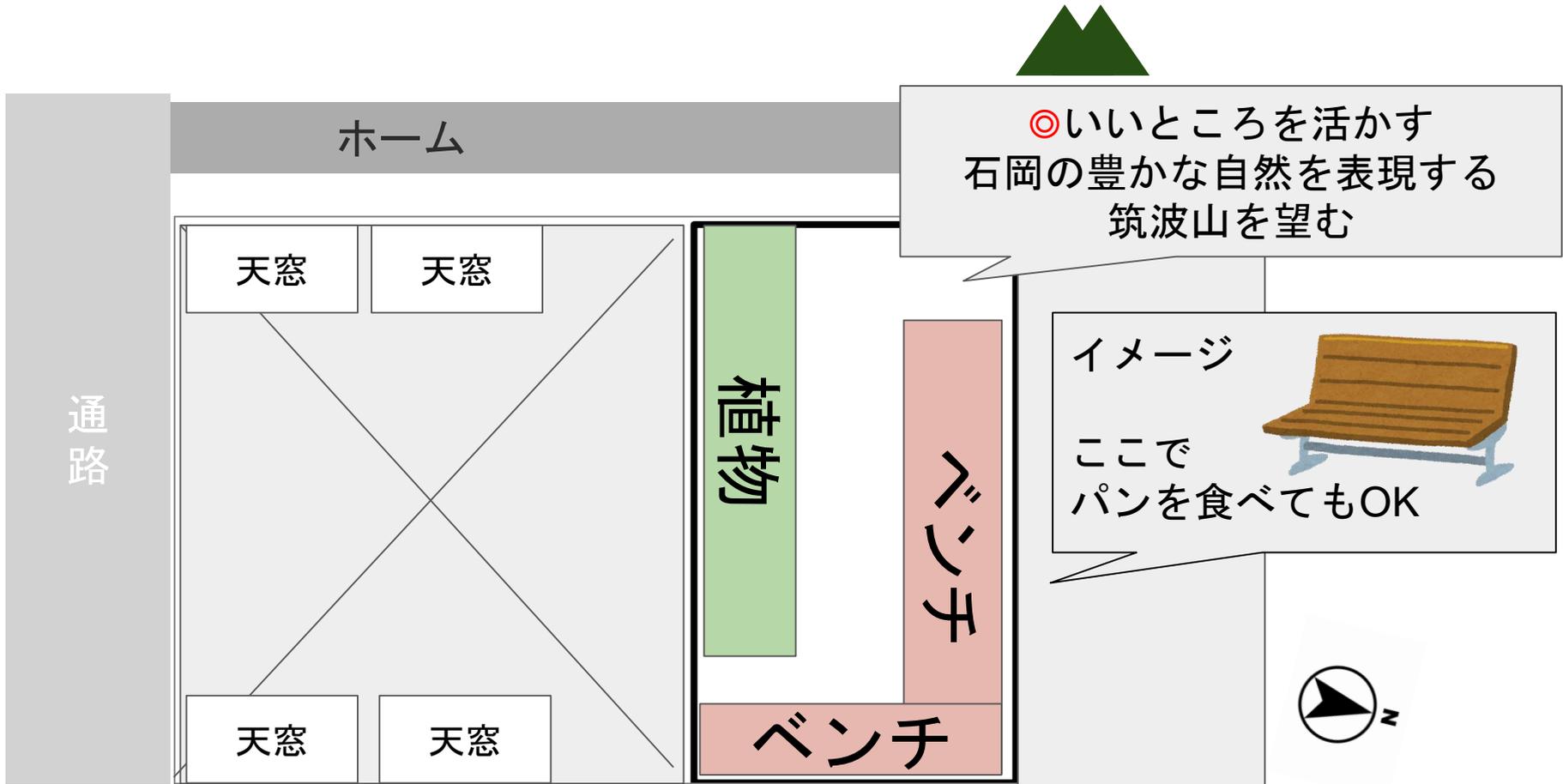




屋上 緑溢れる自然エリア

天窗から緑がみえて、

図書館のある3階に太陽の光が射し込む



ピックアップエリア：1階 みんなの”わ”のエリア

みんなの”わ”には

和：「なごむ」「日本の伝統」

輪：「交流の輪」

話：「会話」 の3つの意味がある

スタンプラリー

①石岡
ルーム

②若者
ルーム

③子育て
ルーム

スタンプラリー「和」「輪」

石岡の名所を巡るスタンプラリーを実施。

シートをもらって市内をめぐるスタート地点

①石岡ルーム

石岡の伝統文化を
伝える「和」

②若者ルーム

3高校が集まる
「輪」

③子育てルーム

高齢者による
保育ボランティア
「話」

1階 ”わ”のエリア で石岡にどうなってほしいか

①石岡の伝統文化を伝える「和」

伸ばせるいいところ
お祭り・歴史がある

解決できる課題
伝統文化が衰退



②3高校が集まる「輪」

伸ばせるいいところ
高校が3つある

解決できる課題
高校生が集まりたいと思う場所がない



③高齢者による保育「話」

伸ばせるいいところ
住民が温かい

解決できる課題
高齢者の居場所がない
保育士が少ない



石岡全体がコミュニケーションをとれて、
幅広い年齢層が交流できる石岡市になってほしい

1階 ”わ”のエリア でやること

①石岡の伝統文化を伝える「和」

・ 展示

お祭り紹介パネル
お獅子の展示



2022/9/16石岡のお祭り

・ ワークショップ
イベント・マルシェの
打合せなど

② 3 高校が集まる
「輪」

・ 三高校合同学園祭



・ イベント
小学生から20代
までを対象とした
イベント
・ 展示
学校でやったこと
を紹介

③ 高齢者による保育
「話」

・ 高齢者による
保育ボランティア
高齢者ボランティアがベビ
ーシッターになる
人手不足をまかなう
伝統を若い世代に伝える

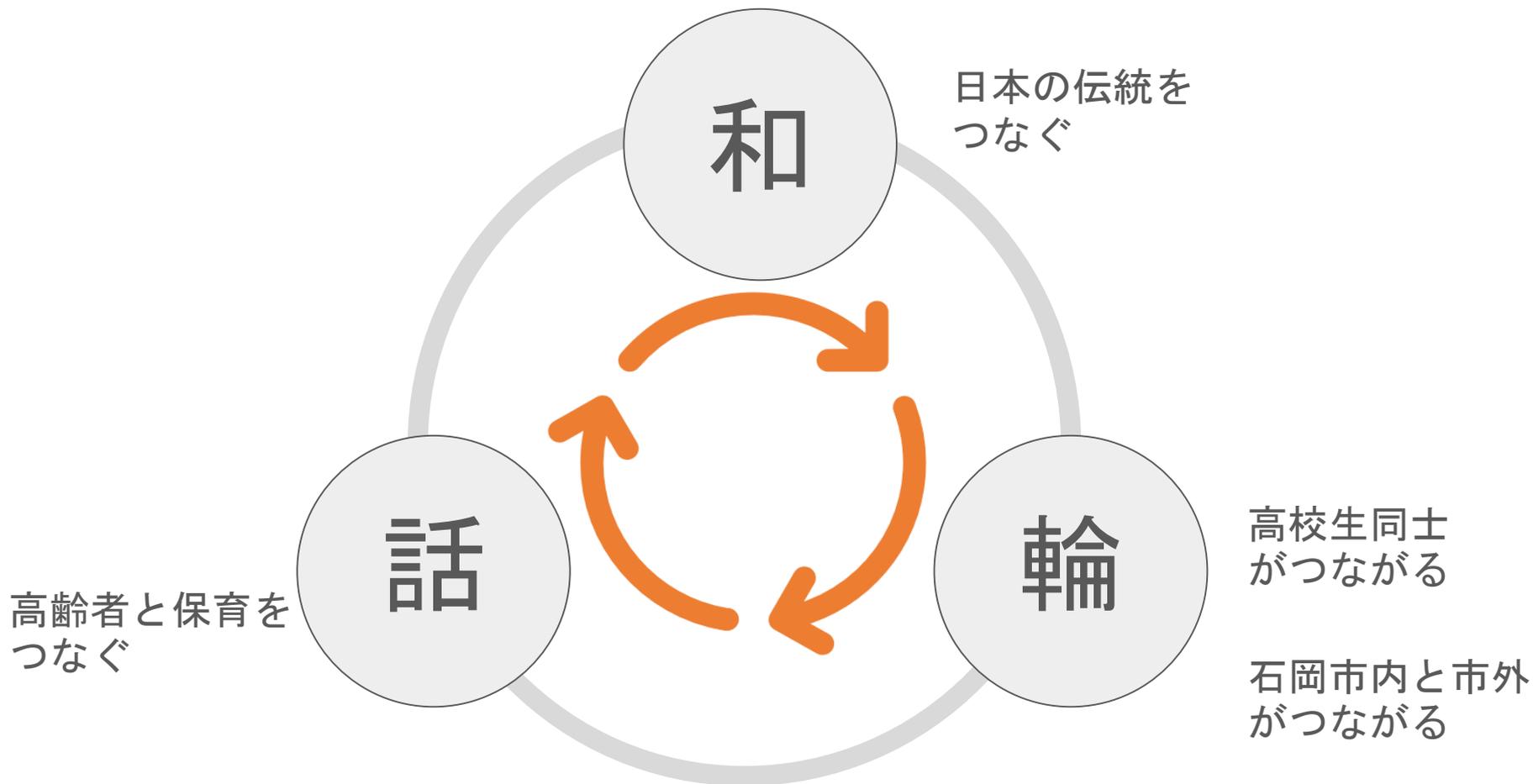


お迎えも駅に
近いので楽！



①～③は壁で区切らず自由に行き来できるようにして、交流
例：若者がベビーシッターになる

まとめ：みんなの”わ”を作り出して続けていこう



わを作り、続けていくことで
みんながコミュニケーションをとれる石岡市に！